

NEWS RELEASE

No. 16-11

2016年10月4日

(公財)損害保険事業総合研究所

損害保険研究費助成制度 新規受給者決定

損害保険研究費助成制度の2016年度新規受給者が決定しました。

損保総研では、本年度の損害保険研究費助成制度の応募を9月5日に締め切り9月30日に助成金選考委員会を開催いたしました。

損害保険研究費助成制度は、損害保険および関連する分野の学問的研究を振興するために、本分野の研究者に対して研究費の一部（上限50万円）を助成するものです。

選考委員会で審議の結果、下記のとおり一般募集4名、特別募集5名、計9名を本年度の受給者として決定しました。助成期間は11月より1年間です。

なお、1993年度の新制度創設以降、24年間の受給者は累計で86名となりました。これまで助成を受けた研究者は、全国各地の大学、大学院において教授、准教授等として現在も活躍されています。

今年度の新規受給者（『 』内は研究テーマ）

<一般募集の部>

にしのはるひさ
西埜 晴久 氏（広島大学大学院社会科学研究所教授）

『損害保険データの分布の推定』

ふかざわ やすひろ
深澤 泰弘 氏（岩手大学人文社会科学部准教授）

『責任保険における被保険者の協力義務に関する研究』

みやけ はじめ
三宅 新 氏（北海道大学大学院法学研究科准教授）

『飲酒運転による保険法上の免責と立証』

きむら けんた
木村 健登 氏（神戸大学法学研究科博士課程（前期）2年）

『D&O保険（Side B Coverage）の問題点と情報開示』

<特別募集の部>

さの まこと
佐野 誠 氏 (福岡大学法科大学院教授)

『完全自動運転段階における自動車事故被害者救済制度の検討』

くぼ ひでや
久保 英也 氏 (滋賀大学経済学部教授)

『日本の損害保険会社が主導する環境リスクファイナンスの提案』

かねおか きょうこ
金岡 京子 氏 (東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授)

『自動運転の実用化に対応した責任保険制度の方向性に関する研究』

かんの まさやす
菅野 正泰 氏 (日本大学商学部教授)

『クレジット・デフォルト・スワップ市場のネットワークを介した相互関連性の
リスク分析』

ふなつ こうじ
船津 浩司 氏 (同志社大学法学部教授)

『2016年改正ドイツ保険監督法が与えるわが国保険監督法制への示唆』

以上

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

学術振興担当 花樹 義典 (TEL: 03-3255-5511)